



# ながおかし議会だより

192号  
2015・4・25  
編集・発行/長岡市議会

ホームページで議会の録画映像を配信中 → <http://www.city.nagaoka.niigata.jp/shigikai/index.html>



八石山のカタクリ(小国町八王子)



郷土史料館(御山町)



水道公園(水道町3丁目)



楽山苑(与板町与板)

## 3月定例会

### 平成27年度当初予算を可決

3月定例会は3月2日から27日までの26日間の会期で行われました。平成27年度一般会計、特別会計、企業会計の当初予算や平成26年度補正予算など市長提出議案等55件、議員提出議案2件を審議しました。

定例会最終日には、当初予算などの議案のほか、議員定数を4人削減することを受けた「長岡市議会会議規則の一部改正」「長岡市議会委員会条例の一部改正」を可決しました。議案の審議結果については、5ページの会派別議案等賛否一覧表をご覧ください。

## 平成27年度一般会計当初予算1,538億4,500万円 ～地方創生元年～ 未来に向かってたくましく前進する予算

3月定例会最終日、平成27年度当初予算11件を原案どおり可決しました。一般会計予算、国民健康保険事業特別会計予算、介護保険事業特別会計予算については賛否が分かれたため、賛成・反対両議員による討論が行われ、起立採決の結果、いずれも賛成多数で可決となりました。

一般会計の予算額は、1,538億4,500万円で国の緊急経済対策を踏まえ、平成26年度3月補正予算と一体となった「地方創生関連事業」及び「切れ目のない経済対策」に重点を置いた予算となり、過去2番目の予算規模となりました。予算に対する各会派の意見は4ページをご覧ください。

〈目次〉		
当初予算の内容	1	議案等賛否一覧表
一般質問	2	市議会の活動状況
各会派の意見	4	政務活動費収支報告
常任委員会の所管に関する質問	5	



平成27年度一般会計予算を賛成32人、反対4人の賛成多数で可決しました。

### 重点的に取り組む施策

#### 人口減少対策と活力の維持

- 地方創生推進体制の整備 2,821万円  
長岡版総合戦略の策定等
- 定住人口の拡大 272億5,678万円  
子どもの医療費助成の拡充等
- 交流人口の拡大 39億6,044万円  
大手通表町地区市街地再開発等

#### 暮らしの安心と安全の確保

- 健康・医療・福祉の推進と連携 20億7,728万円  
新・社会福祉センター(仮称)の整備等
- 防災・災害対策の強化 63億3,062万円  
公共施設の耐震化等
- 活力ある地域経済の創造 449億7,789万円  
切れ目のない公共事業の実施等

#### 各地域が輝くまちづくりを推進 ～次の10年へ向けて～

- 中山間地域の再生、そして東北の復興に貢献 2億485万円  
市の魚「錦鯉」の展示等
- 郷土愛の涵養 3億6,684万円  
地域の宝の磨き上げ等
- 地域の暮らしの安心確保 1億5,139万円  
住民サービスへの緊急的な対応の強化等

#### 長岡の誇りを世界へ発信

##### ～次代を担う子ども達の自信と誇りの醸成～

- 終戦70年・平和祈念交流の推進 8,998万円  
長岡ホノルル平和交流記念事業の実施等
- 長岡文化の発信 7,468万円  
長岡花火(長岡まつりの支援)等

#### 長岡市総合計画によるまちづくり ～「前より前へ!」～

- 構想実現のための共通の視点 19億2,546万円  
次期総合計画の策定等
- 人材と文化をはぐくむ人間性豊かなまちの実現 52億5,143万円  
子どものサポート体制の充実等
- 生涯健やかで、いきいきと暮らせるまちの実現 124億3,289万円  
「子育ての駅」の運営等
- 都市の活力と魅力にあふれ、安全・安心で住みよいまちの実現 287億8,584万円  
殿町踏切の改良等
- 環境にやさしく、豊かな自然と調和するまちの実現 4億4,966万円  
生ごみバイオガス発電センターによる環境負荷の低減等
- 地域経済が元気で、働きやすいまちの実現 192億857万円  
寺泊地域の観光交流拠点の整備等

※表紙の写真はホームページ「長岡市デジタル写真館」(<http://nagaoka-pic.net/>)に掲載されています。

3月定例会

# 11人が一般質問

主な質問と答弁の要旨を掲載します



関 正史 議員  
(3期・市民クラブ)

### 平成27年度当初予算について

**問** どのような基本方針で編成したのか。また、3月補正と一体となった予算における地方創生をどう考えるか。

**答** 国の緊急経済対策で人口減少対策を中心とする地方創生が大きな柱として位置付けられたことを受け、本市においても、雇用創出、産業振興、子育て支援など、さまざまな政策を総動員して定住人口と交流人口の拡大に取り組む、本市の地域資源を生かしながら長岡らしい地方創生を着実に進めていきたいと考えている。また、地域経済をしっかりと支えようと、健康・医療・福祉の

推進や、防災・災害対策の強化等により、暮らしの安心と安全をしっかりと確保していく。さらに、合併10周年と終戦、長岡空襲から70年という大きな節目の年に当たることから、各地域が輝くまちづくりを推進し、平和交流事業や長岡が世界に誇る文化の発信を行っていきたくと考えている。

**問** 今後、重点的に取り組む施策は何か。

**答** 最重要施策である地方創生をはじめ、市民に密着した福祉や教育、公共事業、産業振興などの各分野にわたって数多くの事業を総合的に取り組むこととしている。その中でも特に「人口減少対策と活力の維持」「暮らしの安心と安全の確保」「各地域が輝くまちづくりの推進」「長岡の誇りを世界へ発信し、次代を担う子どもたちの自信と誇りの醸成」という4つの施策を重点的に取り組んでいきたい。



笠井 則雄 議員  
(4期・共産党市議団)

### 子どもの医療費助成事業について

**問** 県内市町村の実施状況や、県制度の拡充に対する本市の見解、本市の対象年齢の拡充について伺う。

**答** 通院助成における県内市町村の実施状況については、県の制度では、子どもが3人以上いる多子世帯は高校卒業まで、一般世帯は3歳未満までを対象としている。この県の制度に子どもの数に関係なく独自に上乗せをし、助成している市町村のうち、高校卒業まで助成している市町村数が10、中学校卒業までが17、小学校3年生までが3となっている。県制度の拡充については、市町村の実情

に合わせて対象年齢や対象世帯の条件を自由に設定できると聞いており、これまでのさまざまな問題の解決に向けて大きな方向転換になると考えている。本市は制度のさらなる拡充について、子育て支援全体の中で総合的に判断していく必要があると考え、通院の助成対象を小学校卒業まで拡充する経費を新年度予算に計上している。

### 平成27年度当初予算について

**問** 給付型奨学金制度の創設について本市の考えを伺う。

**答** 制度の創設については、国に對しては機会を伺う。本市での創設については、まずは制度のあり方について総合的に研究していく必要があると考えている。

### その他の質問

●正規雇用の拡大等について  
●ゲリラ豪雨などの浸水対策について



永井 亮一 議員  
(2期・しん長岡クラブ)

### 財政運営について

**問** 地方交付税において、合併算定終了による影響額を抑える対策をどう考えているか。

**答** 合併算定終了による減収は、本市としても大きな影響が出てくる。そのため、合併した市町村の実情に合った算定方法の見直しについて、全国市長会や全国の合併関係市で組織した連絡協議会を通じ、国に対して算定方法の見直しを要望してきた。

その結果、国では平成26年度以降5年かけて合併後の実情に合った算定方法の見直しを順次行っている。見直し後の算定方法について、総務省の資料などによると、

### その他の質問

●市有施設の今後について

本市の影響額である約72億円のうち、7割程度がこの見直しにより措置されると見込んでいる。

### 人「材」の活用について

**問** 人「材」と人「財」の違いをどうとらえているか。

**答** 人「材」は能力や技術、才能がある人で、人「財」はその能力に加え、地域に対する愛着や地域に貢献したい意欲、志のある人と理解している。

こうした観点から、まちなかキャンパス長岡に参画する3大学1高専の教職員や学生、また、長岡市生涯学習人材バンク「まちの先生」に登録している人などは、単に知識や経験を持っているだけでなく、社会貢献をしたいという志を持つ人と認識している。

こうしたことを通じて、人財の発掘と活用に努めていきたいと考えている。



藤井 盛光 議員  
(1期・無所属)

### 芸術振興について

**問** 長岡造形大学が市立大学にのクラフトフェアへの積極参加を本市も支援すべきと考えるがどうか。

**答** クラフトフェアは、手作りの品の良さに気軽に触れることのできる市民独自のイベントと理解しており、県外から多くの作家が訪れ、交流を通して市内の作家が刺激を受ける場となっている。これまで市民の力により開催されてきたクラフトフェアは、引き続き市民の自由な発想により企画運営することが望ましいと考えている。

長岡造形大学との関係強化については、クラフトフェア運営者と大学とで、その目的や効果等をよく協議してもらう必要があると考える。本市としては、芸術文化の振興を念頭に置きながら、どのような支援ができるかも含め、検討していきたいと考えている。

### アートビレッジのような芸術家定住促進について、本市の見解は。

**答** 現在、類似の事例として、小国地域にある小国芸術村会館において、アーティストと地域との交流事業がある。小国芸術村会館のイベントに合わせて県外のアーティストから来てもらい、イベント会期中は会場周辺に宿泊してもらい、制作活動を行っている。また、地元の小学生とワークショップを開催するなど、小国地域における芸術文化の振興も担っており、今後このような事業の推移を見守りながら研究していきたい。



大平 美恵子 議員  
(3期・無所属の会)

### 伝統的工芸技術の継承と人材育成について

**問** 本市にある伝統的工芸技術の持つ価値を広く普及させていくべきと考えるが、本市の考え方を伺う。

**答** 地域の伝統工芸を広く知ってもらうことは、地域の歴史、文化を守り、そして伝えていくことにつながると思っている。そのため、まず市民から知ってもらう場が必要であると考えており、越後長岡匠展などで、子どもたちが伝統工芸に関心を持つような工夫をしている。今後も、各地域の伝統工芸の素晴らしさを次代を担う子どもたちに継承するとともに、

産地と連携しながらさまざまな機会を通じて広く市内外へPRし、評価してもらい、地域資源に一層の磨きをかけていくことが、市民の誇りや自信につながると思っている。

### 伝統的工芸品産業にかかわる次世代の育成支援のあり方について本市の考えを伺う。

**答** 長岡仏壇や与板打物など誇りを感じることでできる貴重な財産である。伝統工芸の後継者が育つためにも、本市として生産者や関係団体と連携しつつ、支援していく必要がある。また、産業として成り立つことが必要であるため、新たなニーズを採り入れた商品開発や新規市場の開拓が必要であると考える。

※1 合併算定替：合併特例法で定める期間に市町村合併をした場合、旧市町村が存続したものとみなして、地方交付税（普通交付税・特別交付税）のうち、普通交付税を算定するもの。  
※2 クラフトフェア：全国から陶芸、染物、ガラス、鍛冶など手工芸分野の芸術家が集まって、作品の展示や販売を行うもの。



細井 良雄 議員 (2期・共産党市議団)

### 市民の願いに応える国民健康保険事業の運営について

**問** 医療受診の抑制につながる資格証明書の発行を廃止するべきと考える。また、一般会計からの制度外繰り入れを増額し、保険料の減額を進めるべきと考えるがどうか。

**答** 資格証明書の交付については、納付相談や電話相談等でも応じてもらえない方に対し、やむを得ない方法として実施しているが、これにより必要な医療が受けられないことがないよう個々のケースに柔軟に対応している。本市においてはこれまで保険料の引き上げに伴う加入者の負担が増

加する中、制度外繰り入れや保険料軽減の拡大、予防医療の拡充を行うことで、保険料負担を軽減する方策をとってきた。今後も、ジェネリック医薬品の普及や多世代健康づくりなど予防医療の拡充を行い、医療費増加の抑制に努め、保険料の増加を抑えていきたい。

### 農業・農村問題と農協に對する政府の対応について

**問** 農業者の自主的組織である農協に對する政府の改革案について本市の考えはどうか。

**答** 政府は、強い農業をつくり所得を増やすために改革が必要としており、本市は目標実現に向けた工程を示しながら個別に課題に取り組むことが必要と考えている。また、農協改革においては、国主導の画一的な見直しではなく、時代に合った姿に修正していくことが望ましい姿であり、組合員を主体とした農協自らの前向きな改革を期待している。



諸橋 虎雄 議員 (3期・共産党市議団)

### 栃尾郷診療所の存続の危機と長岡市の対応について

**問** これまで栃尾郷診療所の存続についてどのように対応してきたのか。

**答** 診療所については、市長が県厚生連の理事長と面会し、医師を確保し施設の運営を継続してほしい旨を強く要望し、運営を続けている。診療所及び老健施設については、本市としても施設機能を残してもらいたいことから、密接に連絡をとりながら協議を進めている。しかし、全国的に医師の不足や偏在化が深刻な問題となっており、3名以上の常勤医師を必要とする老健施設を継続するこ

とは極めて難しいと聞いている。このように、厳しい状況を承知しながらも、本市としては医師の確保をお願いしている。

### 地域医療を守るのは市の責任という立場を明確にし、栃尾地域の医療は、市長が対応してこそ打開の道が開けると考えるが、本市の考えは。

**答** 長岡の医療体制は、多くの医療関係者の努力と本市との連携、協力によって作り上げ、維持されている。地域医療における行政の責務は、医療関係者、福祉サービスの関係者などの協力を得ながら、医療、福祉の連携ネットワークを築き、関係者の活動を支援すること、どの地域の人でも救急入院など必要な医療、福祉が受けられる仕組みを充実させていくことである。今後、こうした行政としての責務をしっかりと果たしていきたいと考えている。



広井 晃 議員 (1期・市民クラブ)

### 地方創生と市民活動について

**問** 地方創生の推進のために市民協働の窓口は重要と考えるが、本市の考え方について伺う。

**答** 市民活動をきめ細かくサポートする「市民協働ネットワーク」と、アオーレ長岡の運用を中心とする「ながおか未来創造ネットワーク」の2つのNPO法人がそれぞれの持ち味の違いを組み合わせていること、さらにきめ細かい支援を行い、機能をより充実させていきたいと考えている。これからの地方創生の取り組みにおいても、これらのNPO法人との連携をはじめ、多様な団体や個人とつながりながら、市民主体の

市民活動をより一層盛り立てていくことが重要であると考えている。

### 災害弱者の防災対策について

**問** 地域の住民が災害弱者を避難させる共助を促すために、本市としてどのようなことを行っているか。

**答** 災害弱者の方々を早期に避難行動要支援者名簿を作成し、町内会、自主防災会、民生委員など、地域の支援者に情報を提供している。この名簿には、氏名、住所のほか、視覚障害、聴覚障害などそれぞれの障害の状況も記載している。これにより、地域の支援者から災害弱者一人ひとりの障害などの状況について把握して、平時時から共助の体制の整備をお願いしている。



藤井 達徳 議員 (3期・公明党)

### 地方創生戦略の推進について

**問** 長岡版総合戦略策定における基本理念と現段階での基本的方向性について本市の考えはどうか。

**答** 本市は、3月2日付で長岡市地方創生推進本部を立ち上げており、今後は関係者と十分議論し、形あるものにしていきたい。早期に素案をまとめて、ながおか・若者・しごと機構等の意見を聞きながら幅広い観点を入れた計画を秋までに策定していきたいと考えている。



関 充夫 議員 (2期・しん長岡クラブ)

### 地域の宝磨き上げ事業について

**問** 本事業の意図、目的について伺う。

**答** 地域の宝物は、行政が決めるのではなく、住民自らが議論し、今あるものを保存するだけではなく、さらに磨きをかけていくことが、これから10年の目標と考えている。地域の宝物に磨きをかけていくことで、住民の自信や誇りにつながると考えている。何が宝物かということが重要なのは、各々が地域がこれからの10年間、地域の伝統や文化、地域資源、自然環境に自信と誇りを持てるかどうかということが問題と考える。

指定管理者の選定を地域の活動団体に優先性を持たせることは、他団体の参入を阻害することにつながりかねず、指定管理者制度の本来的趣旨からしても慎重な検討が必要である。

### 地域活動団体の育成、財政基盤の充実を考えたとき、地元施設の指定管理者になりやすくする条件緩和等について、本市の考えを伺う。

**答** 地域活動団体の自立に向けて活動基盤の強化のために、指定管理者の選定を地域の活動団体に優先性を持たせることは、他団体の参入を阻害することにつながりかねず、指定管理者制度の本来的趣旨からしても慎重な検討が必要である。



矢野 一夫 議員 (7期・市民クラブ)

### 長岡の歴史について

**問** 幕末の長岡藩の歴史文化をどう受け止めているのか。

**答** 以前から多くの先人、偉人たちがよって全国に誇る多様な個性豊かな歴史文化が作り上げられてきたと認識している。長岡が歩んだ250年の歴史は幕末の北越戊辰戦争の戦禍で多くの人々と貴重な文化遺産を失いながらも、全国に注目されている不屈の精神で復興を遂げてきた。その歴史の礎が現在に至り、そして平成30年に長岡開府40年という節目を迎えることにも大きな意義があると考えている。

国は、地方の自主性や創意工夫を尊重する姿勢を打ち出している。本市は、これまで地方創生のモデルとなり得るさまざまな政策を実施してきており、他都市の手本となる政策が多々あると考えている。これまでの政策をしっかりと発展させていくという観点も入れながら、さらに「前より前へ」を合言葉にして進んでいく必要がある。

### 地方創生関連事業の執行について

**問** 今までの長岡の特色ある取り組みを地方創生事業にどのように生かしていくのか。

**答** 国は、地方の自主性や創意工夫を尊重する姿勢を打ち出している。本市は、これまで地方創生のモデルとなり得るさまざまな政策を実施してきており、他都市の手本となる政策が多々あると考えている。これまでの政策をしっかりと発展させていくという観点も入れながら、さらに「前より前へ」を合言葉にして進んでいく必要がある。

また、合併によって多くの地域資源を抱えるようになったことで、地域資源を地域産業政策と絡めて、地方創生のモデルとなるような政策を構築していきたい。

●その他の質問  
・農業政策の諸課題について

※3 資格証明書：国民健康保険の被保険者を証明するもの。保険料の滞納が続くと通常の被保険者証に代えて交付され、医療機関等の窓口で支払う医療費はいったん全額自己負担となる。

# 平成27年度一般会計当初予算に対する各会派の意見

## ～地方創生元年～ 未来へ前進する予算に賛成！

市民クラブ  
クラブ長 関 正史

平成27年度は「地方創生元年」と位置付けられ、地方の政策立案、そして実行能力が試されるスタートの年であります。特に人口減少対策として、いかに東京一極集中に歯止めをかけ、地方の活力を生むかであります。その対策として、「ながおか・若者・しごと機構」の設立。めまぐるしく変化し厳しさを増す農業に対し、がんばる担い手農家支援の強化。子育て支援、子ども医療費助成の拡充。景気の下支えによる雇用の拡大。地域再生、地域の宝の磨き上げと定住、交流人口の拡大。中心部と周辺地域との調和の取れたまちづくりを目指すものと評価します。

終戦70年、ホノルル市との平和交流記念事業の実施は自治体外交の1ページを開くものであります。また、長岡空襲70年事業も歴史を見つめ、平和について考える貴重な1日となるでしょう。

また、財政調整基金を過去最大に取り崩す積極型予算編成は、行財政改革の成果であります。

我が市民クラブは、平成27年度当初予算に賛成いたします。

## 市民生活の向上を見据え地方創生に向けた 予算に期待し賛成！

しん長岡クラブ  
クラブ長 永井 亮一

平成27年度の一般会計当初予算は、約1,538億円。国が作成した地方財政計画の伸び率2.3%を上回る2.5%増でかつ予算規模では過去2番目となる意欲的・積極的な予算となっています。「～地方創生元年～未来に向かってたくましく前進する予算」とうたっているとおり、財政調整基金を40億円強取り崩し、過去に例を見ない最大額の活用を試みています。地方創生を実現するために「地方版総合戦略」の策定。産・学・官・金（金融機関）が連携しての「ながおか・若者・しごと機構」を設立し、人口減少対策と活力の維持増進を目指しています。予算の中身では、暮らしの安心と安全の確保策に、「高齢者はつらつ広場」30カ所の開設。合併10周年記念プレミアム商品券事業による地域経済の下支え。「地域の宝の磨き上げ」事業による郷土への愛着をはぐくむ予算となっております。

次代を担う子どもたちの自信と誇りの醸成を目指す姉妹都市ホノルル市との平和交流事業や長岡の文化を誇れる予算に賛成と、初期の目的に沿った成果を期待します。

## 国民健康保険料5年連続値上げに反対！ 暮らし、福祉最優先の市政へ！

共産党市議団  
団長 笠井 則雄

昨年の消費増税や物価高により、市民の暮らしが深刻な状況に置かれている中、大型開発優先の市政から暮らし最優先の市政への転換が求められています。

第1は、国民健康保険料の5年連続値上げです。所得階層が100万～200万円の世帯では、年間所得の約18%の保険料になっています。市は国民健康保険料の値上げ抑制のために、一般会計からの繰り出しを大幅に増やすべきです。

第2は、中心市街地再開発問題であります。約320億円もの投資をした中心市街地再開発のしっかりとした検証を行わず、大手通表町地区の再開発を推進しています。また、中心市街地に分散配置した市役所等の維持管理費は、アオーレ長岡は約6億円、主な庁舎を足し込むと約10億円の維持管理費がかかっています。このまま再開発を推進すればさらに多くの維持管理費になることは明らかです。このような大型再開発事業の継続は、暮らし、福祉優先への転換を求める予算とは相容れません。よって、平成27年度一般会計当初予算には反対です。

## 地方創生元年！ 平成27年度一般会計予算に賛成！

民成クラブ  
クラブ長 加藤 一康

平成27年度当初予算は「地方創生元年」と位置付けられ、地域の活力向上、雇用の創出、産業振興、子育て支援等々、定住人口と交流人口の拡大を狙いとし、長岡ならではの地方創生政策を推進していく予算であります。

特に人口減少への対策、景気回復の足取りが確かなものとなるように景気そのもの下支えに配慮した財政出動、戦後70年に対する取り組みなどの諸施策がバランスよく配置されており、地方創生元年にふさわしい内容であると思います。

新たな地域政策の検討や地域の宝の磨き上げ事業など、実際の運用を通じて成長の間われる施策にも積極的であり、子どもたちが「自信」と「誇り」を持てるまちづくりそのものの事業効果に大いに期待します。

したがいまして、民成クラブは、未来に向かってたくましく前進する平成27年度一般会計当初予算に賛成いたします。

## 地方創生に向け、たくましく前進する 予算に賛成！

公明党  
幹事長 藤井 達徳

平成27年度当初予算は、地方創生元年との位置付けのもと、国の補正予算と一体となった15か月予算を編成し、予算規模として過去2番目の積極型予算となっています。地方創生政策の推進や地域経済の下支え、あるいは防災力の強化など、将来を見据えながらも足元の市民生活の安心と安全の確保にも重点が置かれています。特に保育料の1割軽減や子ども医療費の助成の拡充、子育てコンシェルジュの配置、あるいは空き家リフォーム支援やU・I・Jターンの促進策等は、人口減少対策として評価をします。また、認知症カフェや高齢者はつらつ広場の設置、ゲリラ豪雨対策や学校の耐震化、中小企業の資金繰り支援等は、暮らしの安心と安全確保の上で重要です。さらに、自治体情報システムのクラウド化の実現や公共施設等総合管理計画の策定等は、市民満足度の高い自治体経営の推進の上で重要であり、その成果に期待しています。地方創生を進め、若者をはじめ市民の誰もが希望を持ち、ずっと住みたいまち長岡に向けて予算が有効に執行されることを要望し、平成27年度一般会計当初予算に賛成します。

## 「若者が住みたくなるまちへ」 明確な意思示す予算に期待！

無所属の会  
会長 大平 美恵子

地方の人口減少が国の内政問題として浮上し、「地方創生元年」と位置付けられた2015年。合併10年を経て培われた長岡市の総合力を、定住・交流人口の拡大に向けて積極的に発動する未来志向の政策が並びます。特に子育て世代をしっかりと支えようと保育料負担軽減や医療費助成の拡充に踏み出しただけでなく、子育ての悩み相談コンシェルジュの配置や産後母子ケアの充実など、メンタル面の支援を強化したことを評価します。若者世代が住みやすいと感じ定住の決断をするためには、若者のニーズに沿った雇用と住環境、そして新たなチャレンジを可能とする制度や支援の仕組みが必要です。産・学・官・金が連携して設立し始動する「ながおか・若者・しごと機構」が、若者の提案やアイデアを真摯に聴き取り、新たな活力を生み出せるかどうかをしっかりと見守りたいです。太平洋戦争終結70年を迎え、市民の間には平和の尊さと戦災を語り継ぐ大切さを再認識する機運が広がっています。ホノルル市との平和交流により、青少年を中心とした未来志向の成果が生まれるよう期待し、予算に賛成します。

# 3月定例会 常任委員会の所管に関する質問

各常任委員会では、議案審査のほかにそれぞれ担当する事業等について質問する「所管事項に関する質問」を行っています。ここでは、質問の一部を掲載しています。詳しくは会議録（6月上旬発行予定）、インターネット録画中継をご覧ください。

## 総務委員会

- 職員の職場意識の高揚と市民サービス向上に向けたしごと改善の取り組みを広げる工夫
  - 鉱産税収入を踏まえた予算編成
  - 地方創生に向けた若者定住策としての奨学金減免制度の創設
  - 平和関連事業の市民による啓発
  - 地方創生の実現で長岡が全国のモデルとなることに対する本市の考え
  - 消防団組織の充実強化
- など

## 文教福祉委員会

- 子どもの医療費助成事業の対象年齢を拡充した場合の試算額
  - 公共施設の児童用トイレの設置
  - 未満児の親を支援する体制づくりに対する本市の考え
  - 障害者の福祉施設から一般就労への移行
  - 生徒のSOSに適切に対応するよう対応型から予防型への本市の取り組み
  - 要援護世帯除雪費助成事業の支払い状況
- など

## 産業市民委員会

- 小国和紙の若手技術者に対する育成支援
  - フィルムコミッション（長岡ロケなび）の成果と今後の取り組み
  - 農地転用許可権限を地方へ移譲した評価と今後の取り組み方針
  - 「ヤングアートディスプレイin大手通2015」の開催により期待される効果と今後の対応
  - 民有地における放置自動車の対応策
  - 長岡まつり協議会の開催回数に対する本市の考え
- など

## 建設委員会

- 工業団地に進出した企業の近傍地にある排雪場の柔軟な対応
  - 歩道のバリアフリー化の取り組み状況と現在の課題
  - 旧紺藤整染(株)跡地における排水路（道路側溝）の改善
  - 平成26年度に実施したJR宮内駅前の整備概要
  - 市民から除雪に関する要望や苦情が絶えないことについて本市の認識と今後の対応
  - 市街地北東部の雨水対策の現状と今後の取り組み
- など

### 人権擁護委員の推薦に同意

3月27日の本会議最終日において、次の方を推薦することに同意しました。

- 堀内 憲子 氏（新任）
- 丸山 雅人 氏（新任）
- 岩野 守男 氏（新任）
- 武士俣幸村 氏（新任）

## 会派別議案等賛否一覧表

### 3月定例会

○：会派全員が賛成 ×：会派全員が反対

議案等	会派名 ( )は所属議員数	市民クラブ	しん長岡クラブ	共産党市議団	民成クラブ	公明党	無所属の会	無所属A	無所属B	無所属C	議決結果
		(15)	(5)	(4)	(4)	(3)	(2)				
専決処分	平成26年度一般会計補正予算 2件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
予当算	平成27年度一般会計	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
	平成27年度国民健康保険事業特別会計	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
	平成27年度国民健康保険寺泊診療所事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	平成27年度後期高齢者医療事業特別会計 ほか6件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	平成27年度介護保険事業特別会計	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
補正	平成26年度一般会計 ほか10件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	制定	教育委員会教育長の勤務時間その他の勤務条件等に関する条例 ほか1件	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
市長提案	情報公開条例及び個人情報保護条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	行政手続条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	職員定数条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
	特別職の職員の給与に関する条例等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	職員の給与に関する条例等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	職員の退職手当に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	手数料条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	市立幼稚園条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案	公民館条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	地域会館条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	福祉サービス事業費用徴収条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	保育園条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	市立へき地保育園条例 ほか6件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	介護保険条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
	市の境界変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	市道路線の認定、変更及び廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	契約の締結（市道拡幅工事等委託）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	財産の取得（新・社会福祉センター（仮称））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
その他	資本剰余金の処分（下水道事業会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	過疎地域自立促進計画の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	見附市との間における定住自立圏形成に関する協定の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	人事	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提案	条例等一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議会会議規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議会委員会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

### 会派別議員名簿（3月27日現在）

会派	議員名	議員名
市民クラブ	関 正史	松井 一男
	丸山 広司	長谷川一作
	古川原直人	加藤 尚登
	高見 美加	浮部 文雄
	広井 晃	高野 正義
	酒井 正春	五井 文雄
	小熊 正志	大地 正幸
	矢野 一夫	
	しん長岡クラブ	永井 亮一
	山田 省吾	関 充夫
	水科 三郎	
共産党市議団	笠井 則雄	諸橋 虎雄
	木島 祥司	細井 良雄
民成クラブ	加藤 一康	杉本 輝榮
	佐藤 伸広	小坂井和夫
公明党	藤井 達徳	中村 耕一
	山田保一郎	
無所属の会	大平美恵子	桑原 望
無所属	A 藤井 盛光	
	B 西澤 信勝	
	C 関 貴志	
	D 丸山 勝総（議長）	

# 市議会の活動状況

## 4月7日 第90回北信越市議会議長会定期総会を開催

北信越市議会議長会の定期総会が5年ぶりに本市で開催されました。泉田裕彦新潟県知事、森民夫長岡市長をはじめ、多くのご来賓をお迎えし、北信越の5県（長野県、石川県、富山県、福井県、新潟県）69市から市議会議長や関係者ら約220人が一堂に会しました。総会では、永年在職議員の表彰のほか、敦賀までの北陸新幹線の早期整備や人口減少対策など各県から提出された議案の審議などを行いました。



開会のあいさつをする丸山勝総議長

## 2月15日 ホノルル市議会マーティン議長が議場でスピーチ

2月14日～15日に、姉妹都市であるアメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市からホノルル市議会マーティン議長ご夫妻が来岡されました。15日には、マーティン議長からこれまでの本市とホノルル市との交流の証として、丸山議長へ名誉証が授与されました。また、マーティン議長からホノルル市の紹介や平和交流などについてスピーチを行っていただき、議員との意見交換を行いました。



マーティン議長から丸山勝総議長へ名誉証の授与

今後も長岡、ホノルル両市議会は、両市の友好の絆がより深まるよう協力していきます。

### <ホノルル市郡議会名誉証>

ホノルル市・郡の市民を代表するホノルル市議会は、長岡市議会及び長岡市民の皆様がハワイの人々へ温かく友好の手を差し伸べ、日本の文化、伝統、そして平和への想いを伝えてくださっていることに対し、ここに誇りをもって感謝いたします。



名誉証

長岡、ホノルル両市は共に第二次世界大戦の戦禍を被りました。長岡では1945年8月1日のアメリカ軍による空襲、ハワイでは1941年12月7日の真珠湾攻撃がありました。やがて長岡もホノルルも共に立ち上がり、今日のように多様性豊かな都市として繁栄するまでに至ったのも、素晴らしい両市民の確固たる決断と勇気ある精神のおかげにほかなりません。

長岡では、破壊的な空襲の翌年から市民の皆様が、あの悲惨な日に命を失った犠牲者を追悼し、8月2日、3日の2日間に慰霊の花火を打ち上げておられます。毎年変わらず同じ8月2日、3日の2日間に打ち上げられる伝統の長岡花火は、長岡市民の「平和の祈り」として知られるようになりました。その想いはホノルルフェスティバルを通して、ハワイ市民に、そして世界の人々にも伝えられています。

長岡とホノルル両市は、政治、経済、文化、教育、福祉、スポーツの分野での交流を推進・発展させることを願って2012年の公式調印により姉妹都市となりました。また、長岡市議会とホノルル市議会は、世界平和に寄与し、日米友好を深めるための相互交流を願って2014年に友好交流覚書に調印いたしました。

ホノルル市民は両市が結んだ誠に素晴らしいこの友好の絆を大切にしております。ホノルル市議会は、長岡の皆様がホノルルフェスティバル財団と協力して、ハワイ及びアジア太平洋地域の人々の民族音楽や芸術及び文化をひとつに繋ぎ、理解を深めてくださっていることに感謝しております。ホノルル市・郡の市民を代表するホノルル市議会は、長岡市議会及び長岡市民の皆様が絶えることなく友好を深め、ホノルルフェスティバルを支援し、両市の政治的、社会的絆をさらに強化し続けてくださっていることに対し感謝の意を表します。ホノルル市議会は、長岡の皆様が世界に平和と調和がもたらされるようにと献身的に努力なさっていることに対しても重ねて感謝いたします。

2015年2月15日

議長 アーネスト Y. マーティン

●2月	
2日	議会運営委員会 まちづくり・新エネルギー対策特別委員会
13日	議員協議会
26日	議会運営委員会
●3月	
	議会運営委員会
2日	本会議（招集日） 総務委員会 文教福祉委員会 産業市民委員会 建設委員会
3日	本会議
4日	本会議
5日	本会議
11日	文教福祉委員会
12日	3月定例会（26日間） 文教福祉委員会
13日	建設委員会
16日	建設委員会 長岡東西道路・大河津分水整備推進特別委員会
17日	産業市民委員会
18日	産業市民委員会
19日	総務委員会
25日	総務委員会
27日	議会運営委員会 本会議（最終日）

## 議員報酬の改定について

平成27年1月29日に開催された長岡市特別職報酬等審議会で市議会議員の議員報酬を月額1万6千円増額することが適当と答申されました。

この答申を踏まえ、3月定例会にて「長岡市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正」が提案され、賛成多数で可決し、平成27年5月から施行されます。

改正後の月額報酬 ▶ 議長 62万4千円  
▶ 副議長 56万3千円  
▶ 議員 52万6千円

## 平成26年度 政務活動費収支報告

政務活動費とは、議員の調査研究活動の充実を図るために、必要な経費の一部を補助するものです。長岡市では、議員1人当たり月額6万円を会派に交付しています。（ただし、会派に属していない議員は所属議員が1人の会派を結成しているものとみなして交付しています。）

（単位：円）

会派名	市民クラブ (15人)	しん長岡クラブ (5人)	共産党市議団 (4人)	民成クラブ (4人)	公明党 (3人)	無所属の会 (2人)	無所属 (藤井盛光)	無所属 (西澤信勝)	無所属 (関 貴志)	無所属 (丸山議長)	合計
収入の部											
政務活動費①	10,800,000	3,600,000	2,880,000	2,880,000	2,160,000	1,440,000	720,000	720,000	720,000	720,000	26,640,000
調査研修(研究)費	7,151,803	2,367,785	917,150	1,175,398	1,191,990	280,770	66,850	45,720	104,887	377,970	13,680,323
広報広聴費	494,398	128,216	1,362,135	220,062	0	426,813	585,330	8,736	307,566	0	3,533,256
要請・陳情活動費	19,740	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,740
資料費	773,889	418,898	381,065	259,484	164,346	210,767	17,820	82,018	105,816	20,982	2,435,085
情報通信費	1,595,743	414,222	88,717	708,940	716,252	120,000	50,000	0	40,488	215,421	3,949,783
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務費	764,427	270,879	130,933	516,116	87,412	127,662	0	36,504	18,212	105,627	2,057,772
合計②	10,800,000	3,600,000	2,880,000	2,880,000	2,160,000	1,166,012	720,000	172,978	576,969	720,000	25,675,959
収支差引残額 (①-②)	0	0	0	0	0	273,988	0	547,022	143,031	0	964,041

※収支差引残額については、市に返還されます。

## 6月定例会を傍聴しませんか？

6月定例会の日程は、5月下旬に決定します。ぜひ傍聴にお越しください。

本会議	・開会	午後1時
	・受付	午後0時30分からアオーレ長岡西棟2階(傍聴受付)にて
	・定員	65人、車いす席2人、親子傍聴席10人
常任委員会	・開会	午前10時
	・受付	午前9時30分からアオーレ長岡西棟4階(議会事務局)にて
	・定員	12人

